

事業所職員向け 児童発達支援評価表

療育ポータルスタジオ Core More 新都心スタジオ

記入日:令和 5年 2月28日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5		・部屋ごとに1人ずつであり適切である。 ・あと一部屋あると受け入れがしやすい。
	② 職員の配置数は適切であるか	4		・適切。他の専門職に相談できる余裕がある。 ・どちらとも言えない 1
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5		・情報量を少なくし、すっきりさせている。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5		・広さが不足しているが工夫しておこなっている。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5		・より多くのケースで全職員が関わると良い。 ・朝のミーティングで必要に応じて情報共有している。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		・相談受付の周知や意見箱の設置等もおこなっている。 ・いただいたご意見は掲示や通信で周知をしている。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5		
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	2	・現状おこなっていない。その旨は重要事項説明書に記載している。 ・他事業所の職員による評価、助言等を支援に生かしている。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		・勤務時間内に研修時間を設けている。 ・業務に差し支えない範囲でお願いしている。 ・確保しようとしているが時間の制約がある。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5		・分析と評価に基づいておこなっている。 ・支援中の行動観察や児童・保護者様からの聞き取りを中心にアセスメントをおこなっている。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5		・各々の評価項目を使用している。 ・契約時には保護者様の視点でKIDS、JSI-Rの協力をお願いしている。必要に応じて各自でアセスメントをおこなっている。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5		・地域支援に関しては情報量が少なく今後改善の余地があると思われる。 ・児童発達支援ガイドラインについて職員間で共有をおこなっている。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5		・方針が変わる際には更新をしている。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		・チームで共有し意見交換している。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		・適宜手作りの支援グッズ等を活用している。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	5		・対子どものコミュニケーションのサポートも含め来年度から合同の時間を設ける。必要に応じて複数名の活動もおこなっている。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5		・必要に応じて担当以外の職員に協力を仰いでいる。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	2	・柔軟に対応するようにしている。 ・勤務時間にばらつきがあることや、勤務時間終了間際まで支援をおこなうため集合しやすい朝のミーティングを活用している。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5		・記録、ヒヤリハットの共有もおこなっている。
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5		
	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	2	・他機関との会議が現状無いが、全児童対象でミーティング時の担当者会議をおこなっている。情報共有や必要に応じて意見交換をおこなっているがより精度をあげていけたらよいと思う。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5		・必要な情報共有をしている。
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2	1	・電話、書面等で密に連絡を取っている。 ・保護者様からご様子の聞き取りや書面での共有をお願いしている。 ・不明 2

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	2	1	・電話連絡先等を共有していただきすぐに連絡が取れる体制を整えている。 ・不明 2
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5		・訪問をおこなっている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4		・申し送り等を使用している。 ・潤いファイルの所見の協力をおこなっている。 ・不明 1
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		・他事業所との情報共有を積極的におこなっている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		3	・地域に開かれた事業所を目指していくべきだと思う。課題である。 ・サービス提供時間内での交流は現実的ではない。幼稚園、保育園と並行で利用される方が多いため現状検討はしていないが具体的な希望があがった場合には検討する。・不明 2
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	2	・地域に出ていくのは課題。 ・今年度からおこなわれている地域のネットワーク会議に参加している。構築の段階である。・不明 1
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		・「できている」かは対他人なので丁寧に確認する。
保護者への説明責任	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	5		・一律のペアトレはおこなっていないが、必要に応じて相談を受け付けている。市のペアトレやピアサポートの情報を掲示等でお知らせしている。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		・契約時にお伝えしている。料金表の改定等があった際には書面でお渡ししている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		・保護者から発信しやすい雰囲気づくりを心がけている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	2	・できているところとそうでないところがある。個に対する支援を望まれる方もいる。・不明 2
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5		・勉強会もおこなっている。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	3	・行事をおこなう等している。 ・地域の作品展に出展するなどして地域と関わっている。 ・個人情報等に関わるため慎重におこなう必要がある。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5		・各委員会をおこない共有している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		・今年度は9月におこなった。日常的にも確認している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5		・初回アセスメントシートを用いて把握している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	2	・アレルギーの把握は初回アセスメントシートにておこなっている。 ・服薬、アレルギーや病気の把握がしやすくなるとよい。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4		・不明 1
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4		・身体拘束がおこりえる状況等を共有し、虐待防止に努めている。・不明 1
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか			・該当する児童は現状いないが必要に応じて記載をする。 ・不明 1
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が入替わり初年度であったが各専門性を生かし発達支援や家族支援をおこなうことができた。 ・常勤、非常勤で情報共有にばらつきがあったことは課題である。事業所内の分掌についても検討していく必要がある。 ・地域との関わりについては、事業所へのニーズや利用者様の実情に合わせた検討が必要であるため、慎重に検討する必要がある。 				

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。
「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。